



10月号 令和6年10月1日
茅ヶ崎市立鶴が台小学校
校長 渡邊 美和

学校教育目標： 心豊かに 未来を生き抜く力を育む ～「小さな学校 大きな家族」～

前期の終業です

9月に入っても連日30度を超える気温で、秋の訪れはいつになるのかと思っていましたが、お彼岸を過ぎると不思議なことに、さわやかな風も感じられるようになってきました。4月より半年の学校生活を送り、早いもので11日には前期の終業式を迎えます。学校生活は思いのほか忙しく、すべきことに追われる毎日でしたが、子どもたちみな、よく乗り越えてきました。これも、保護者の皆様、地域の皆様の温かい見守りがあったからだと思います。ご理解、ご協力に感謝申し上げます。後期からも、よろしくお願いいたします。



『家庭への知らせ』について

お子さんの前期における頑張りや成果につきましては、昨年と同じように、10月2日から始まる個人面談で「家庭への知らせ」をお見せしながら担任よりお話しさせていただきます。各ご家庭におかれましても、良いところは褒めていただき、今後の課題については後期に向けて目標を立てるように考えていただきたいと思います。ほめられることや認められることにより、児童は自信をつけて自己肯定感を高め、課題についても前向きに取り組むことができるようになると思います。

現在の「家庭への知らせ」に記されている内容は、目標に準拠した評価となっています。保護者や地域の皆様が子どもに体験された、5段階の数字で評価が出された「相対評価」や学習目標に到達した子ども全員に「できる」をつけた「到達度評価」とは評価の方法が違ってきます。

学習の観点別評価ですが、学校では「できる＝学習内容がおおむね身についた」を目指して日々の授業を行っています。この「できる」の評価はしっかりと学習に取り組んだ成果となりますので、大いにほめてあげてください。「よくできる」は「できる」の基準を満たし、さらに発展的な学習に進んで取り組んだり、学級全体の学習を深める発言があったりという児童の姿が見られた場合になります。「努力してほしい」は教員も自分自身の指導法を振り返り、今後のお子さんの学習フォローを行っていきます。ひまわり教室の児童の家庭への知らせは、より具体的な内容について文章にしてお伝えしています。お子さんの励みにつなげていただければと思います。



12日(土)～16日(水)5日間の秋休みですが、子どもたち一人ひとりにとって今までの学習や生活を振り返るよい機会となることを願っています。短い秋休みが終わると、後期が始まります。新学期になるので、気持ちを切り替えて楽しく充実した学校生活を送るように見守っていきたいと思います。

子どもたちが笑顔で登校してくるのを教職員一同、待っています。心身ともにリフレッシュさせて17日の後期始業式を迎えたいと思います。